

令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業（利便増進計画策定事業）の自己評価について

1 自己評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業の自己評価は、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されるために、協議会（盛岡都市圏地域公共交通会議）が、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 3 条 5 項に基づき、事業の性質に応じ、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことを目的とする。

2 評価の方法

（1）自己評価（一次評価）

補助対象事業者（盛岡都市圏地域公共交通会議）が、事業の実施状況の確認、評価を行い、当該自己評価の結果を地方運輸局に報告するとともに、公表する。

（2）二次評価

一次評価等を基に地方運輸局が作成した二次評価案等について、地方運輸局に設置した各担当部長及び学識経験者等の有識者からなる第三者評価委員会において審議する。

地方運輸局においては、その結果を踏まえて評価を実施し、補助対象事業者に対して当該二次評価を通知するとともに、二次評価の結果を含む事業評価の結果について、国土交通省総合政策局へ提出する。

3 評価の項目

計画等の策定に係る事業が適切に実施され、計画等の策定につながるものとなっているか、調査結果を整理し評価する。

適切に実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。さらに、計画等の策定に向けた方針も明らかにする。

※これらの項目に係る資料については、「資料 2（別紙）」のとおりです。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名：盛岡都市圏地域公共交通会議

評価対象事業名：地域公共交通利便増進事業 (利便増進計画策定事業)

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業内容】</p> <p>①ダイヤ調整に関する課題分析・事業内容の検討 ②路線バスネットワークの維持に関する課題分析・実施内容の検討 ③利便増進実施計画素案の作成 ④法定協議会開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>①市町境を跨ぐ地区等を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、利便増進事業内容を検討した。 ② ①における検討内容及び交通事業者等との協議・調整結果を計画素案としてとりまとめた。 ③利便増進事業の実施内容への意見照会にあたり、盛岡都市圏地域公共交通会議を2回開催、計画策定に向けて本年度中に1回開催予定している。</p>	<p>A</p> <p>計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。 アンケート調査の結果、盛岡市南西部からは市町を跨いだ移動需要は低いことがわかった。また、路線バスネットワークの維持に関する課題分析の結果を踏まえ、交通事業者とともに運転士不足の対応策(折り返し地点の追加)を検討した。これを踏まえ現状の路線バスネットワークの見直しを含め地域の実情に即した計画となるよう素案を作成した。</p>	<p>①利便増進事業に位置付けることを検討中の事業においては、早期の事業実現に向けて調整を進める必要がある。 ②利便増進事業に関連して実施する事業においては、利便増進事業の実施と合わせて、盛岡都市圏3市町間で連携した施策展開に向け、次年度から検討・協議の実施を見込んでいる。 ③計画策定時より事業実施の見込みが整った「施策路線バスネットワークの維持(盛岡市盛南地区における路線バスネットワークの再編)」を位置付けることで計画素案をとりまとめることで検討した。</p>
<p>【二次評価】</p>		

地域の概要

1. 基礎データ

盛岡都市圏(盛岡市、滝沢市、矢巾町)
 人口： 355,060人 (R7.11.30現在・住民基本台帳)
 面積： 1,136.07 平方キロメートル
 過疎地域等指定：なし、山村(旧玉山村藪川村)
 高齢化率：29.7% (R7.11.30現在・住民基本台帳)
 交通会議開催数：3回(R7.4 ~ R7.12)

2. 公共交通の概況

【乗合バス】
 ①路線バス
 運行：岩手県交通(株)、岩手県北自動車(株)、
 ジェイアールバス東北(株)
 路線：109路線
 ②コミュニティバス
 運行：滝沢市(3路線)、矢巾町(2路線)
 路線：5路線

【鉄道】

運行：東日本旅客鉄道(株)、IGRいわて銀河鉄道(株)
 路線：在来線5路線、JR東北新幹線

【一般タクシー】

運行：タクシー事業者21社
 エリア：盛岡交通圏(旧玉山村を除く盛岡市、滝沢市、矢巾町)、
 岩手郡(旧玉山村)

【乗合タクシー】

運行：タクシー事業者1社
 エリア：矢巾町

【自家用有償旅客運送】

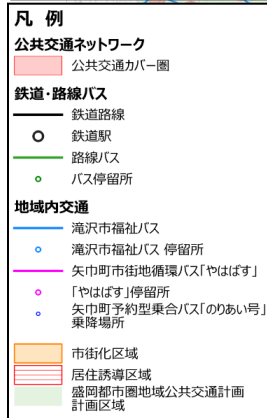
運行：なし
 形態：－
 エリア：－

3. 公共交通の問題点

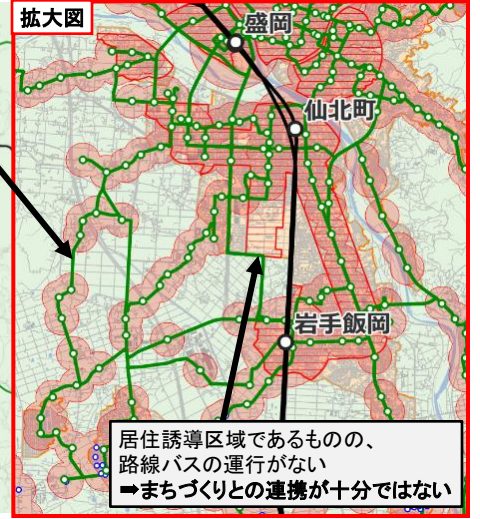
盛岡都市圏の公共交通の現状を踏まえ、盛岡都市圏では下表のような地域公共交通の問題点を抱えている。

問題点の分類	問題点の内容(抜粋)
公共交通全般の問題点	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・コロナ後のライフスタイルの変化に伴い、公共交通利用者の更なる減少・収益悪化が生じている 運転士不足に伴い、バス路線の維持・タクシーの配車が難しい バス路線の減便や廃止に伴い、鉄道・バス不便地域が拡大している
公共交通ネットワークに関連する問題点	【自治体・事業者視点の問題点】 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりと公共交通が十分に連携できていない 交通事業者間・交通モード間の連携ができておらず、交通結節点が十分に機能していない
公共交通サービスに関連する問題点	【利用者・住民視点の問題点】 <ul style="list-style-type: none"> 市町を跨ぐ移動ニーズに十分対応できていない 夜間・休日等に利用が難しいダイヤ設定となっている 路線バスの定時性が低い
住民意識・参画に関連する問題点	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に関する情報や便利な利用方法等が認知されていない 福祉や住民組織等の多様な主体との連携やその理解が進んでいない
施策展開に関連する問題点	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡都市圏3市町として連携した施策展開が行われていない 補助路線以外の詳細なデータを把握しきれていない 行政負担が増加傾向となっている

鉄道・路線バスのカバー圏



需要が少ない集落等をカバーするように、複数の路線バスの系統による非効率な運行
 →乗務員不足により、需要の少ないエリア・時間帯等では、バス路線の維持が難しい



調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

2. 路線バスネットワークの維持に関する課題分析・実施内容の検討

3. 利便増進実施計画素案の作成
(計画素案の作成)

4. 法定協議会開催(2回開催)

【今後予定している内容】

1. ダイヤ調整に関する課題分析・事業内容の検討

3. 利便増進実施計画素案の作成
(意見照会結果の計画素案の反映)

4. 法定協議会開催(残り1回)

調査結果概要

2. 路線バスネットワークの維持に関する課題分析・実施内容の検討

- 市町境を跨ぐ交通需要が見込まれる盛岡市上飯岡地区、湯沢地区及び羽場地区(以下「盛岡市南西部」という。)並びに東見前地区、西見前地区、三本柳地区、津志田地区及び永井地区(以下「盛岡市南東部」という。)及び矢巾町北部においてアンケート調査を実施し、各地区の移動特性を把握した。
- 盛岡市南西部においては、買い物・通院等の日常的な移動先は約9割が盛岡市内であること、移動日時や頻度が分散していること、盛岡市南東部及び矢巾町北部については、特定のエリアや施設周辺への市町境を跨ぐ移動が一定数あること等が明らかになった。
- 地域特性の分析やアンケート調査結果より、盛岡市南西部における路線バスから地域内交通へ転換する範囲や盛岡市南東部及び矢巾町北部におけるデマンド交通拡大範囲・指定乗降場所案を検討した。
- 交通事業者が実施する路線バスネットワークの見直しと合わせて、利便増進事業としての位置付けやフィーダー系統補助の適用の可能性を検討した。

3. 利便増進実施計画素案の作成

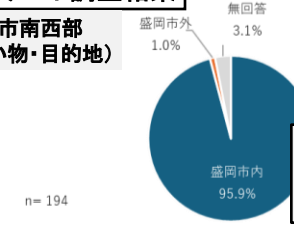
- 利便増進事業として、当初は「施策A 利用しやすい運行ダイヤの設定(1事業)」、「施策B 路線バスネットワークの維持・タクシーの効果的な活用によるネットワークの形成(3事業)」の2施策の位置付けを視野に事業内容の検討及び交通事業者等との調整を進めた。
- 最終的には、計画策定時より事業実施の見込みが整った「施策C 路線バスネットワークの維持(盛岡市盛南地区における路線バスネットワークの再編)」を位置付けることで計画素案をとりまとめることで検討した。
- 盛岡都市圏地域公共交通会議委員に意見照会を行い、必要に応じて計画素案に反映する予定。

4. 法定協議会開催

- 法定協議会として盛岡都市圏地域公共交通会議を10月上旬、11月下旬の計2回開催した。

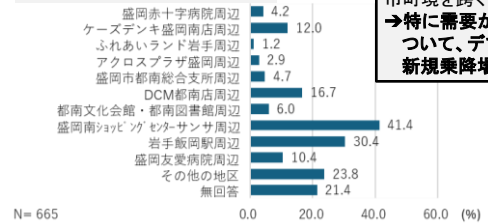
アンケート調査結果

盛岡市南西部(買い物・目的地)



買い物は9割が盛岡市内
→市町境界に位置する
盛岡市南西部については、
市町境を跨ぐ移動需要は低い

矢巾町北部(買い物・盛岡市の目的地)



特定の施設周辺へ
市町境を跨ぐ需要を確認
→特に需要がある施設周辺に
ついて、デマンド交通の
新規乗降場所案として調整

利便増進事業の実施箇所(事業評価時)



今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 2月中旬まで
ダイヤ調整に関する課題分析・事業内容の検討

- 2月中旬
第12回公共交通会議開催
(計画素案の提示)

- 2月下旬
利便増進実施計画の策定

【地域の交通の目指す姿】

盛岡市南西部における路線バスネットワークの再編により、路線バスネットワークの効率化を図り、再編対象となる居住誘導区域における公共交通利便性を大幅に向上させる。また、利便増進事業に位置付けることを検討中の他事業においても、早期の事業実現に向けて調整を進め、都市圏全体としての利便増進を図る。